

北の道先案内人

とがし遊魚がいく!

鮎温泉食の旅

冬の社交場 「ザ・遊魚池」

日本はもとより全世界が天地異変の地球！ 昨年は、記録的な豪雪に見舞われて、どこの地球温暖化? と思っていたのが、今冬はどつどつ。我が雪国でも山間部をのぞけば平野部には積雪ゼロです。70歳代の人も、こんな冬の経験は初めて! のようです。

暖冬による影響で、雪国ならではの冬の風物詩行事に必要な言葉めに苦勞させられたとか。でも喜び組は

ゴルフ場通い。それに、なんて云うたって我が「ザ・遊魚池」です。例年だと、結氷防止で夜中に水中ポンプ4台&風車をフル稼働させてるのだが、今冬は夜中にポンプ1台で間に合うのだからね。真冬日が一度もありません。

でも今頃の水温は1度前後かな。ヘアブナは、4度以下になると動かすエサも追わないと云われてますが、それは大間違いです。今冬の遊

魚池は絶好調です。釣り方は、ほとんどが両ウドンにマフシ粉で、カッテ釣りの底釣りまで楽しんでます。バラケにウドンのセツト釣り。だと、まあ無理ですね。水温に問題があるのと思われ。1度からマイナスイ水温だと、バラケエサに反応してしまい、クワセには興味がないのかも知れませんが、

両ウドンの釣りでも、お日様が顔を覗き出すと、無風の「釣り日和の日」は貧釣果になります。水通しがいいから、警戒発令が出るのでしょつと。ところが、曇りで雪が舞う日だと、絶好調となり、皆さんを舞う日だと、絶好調です。また、午後3時をすぎるとゴールタイムに突入して、「確変が止まらない、大当たりモードだ!」ということになります。



フィッシングショーにて出口編集長と僕「遊魚」。自分は今年連勝を迎えたが、出口さんも50オーバーのものね。月日のたつのが早いもの。出陣!当初は彼は30代で僕も40代のバリバリ時代だった。でも、編集長は若いっすね。まじにバリババ40で総合優勝したのかね。そんなに釣りが上手だったの??



遊魚池(2月18日撮影) 例年だと周りは雪に覆われているのだが、今冬は桟橋の除雪は4~5回かな。駐車場に関しては除雪作業は皆無。昨年の今頃は、朝夕の2回と夜中に1回の除雪作業にうんざりしてたなあ。



大曲の管理釣り場・玉川レジャーランド「ヘア釣り場」。確かではないが「砂利穴」を利用した長方形の池で浮橋幅が3本あり50名は入釣可能。最深部で5mくらい。毎年放流されており、昨年は(株)海老沼養魚の相馬産グラマー産を放流!この写真は1月なのに、ここも雪無しです。1半本のバラケにインスタントウドンの宙釣りがよかったですね。敷地内に旅館もあり、予約すると昼食も食べられる。

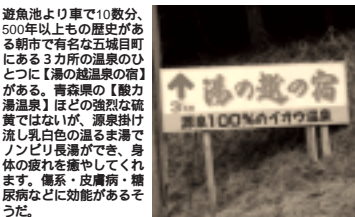
遊魚池より車で7分位に、ドライブイン「竹とんぼ」がある。お薦めは「600円の日替わり定食」。小鉢がいっぱいついてるし、お代わりもできるぞ。超安350円の昔懐かしい醤油ラーメンも美味しいよ。また、お隣がコンビニなので便利。



遊魚池の厄介者「詐欺師」の置き土産の「ウンコ」の後始末には、ほとんど手が焼けますよ。色々な対策にも効果なしだったのが、熊を遊ばせておいたら寄りつかなくなった。初めて来る釣り人は、皆さん、熊をみたらビックリ仰天! 本当は別腹だよ。ジョークのつもりでももらったのが青サキ対策に効果絶大! でも、時々場所替えないとバレちゃうかもね。



大曲市のお隣の横手市。冬の祭り「かまくら」が有名。毎年2月15~16日に開催されるのだが、今年は肝心の雪が少ないけど...今は街興しのひとつとして「横手焼きそば」を大々的に売り出し中。焼きそばの上に玉焼きが乗っているのが特徴だね。またシーズン中は横手城内にある「牛沼」は県内でも3本の指に入るくらいの人気釣り場。



遊魚池より車で10数分、500年以上の歴史がある新市で有名な五城目町にある3カ所の温泉のひとつに【湯の越温泉の湯】がある。青森県の【動力湯温泉】ほどの強烈な硫黄ではないが、源泉掛け流し乳白色の温る湯で、ノンビリ長湯ができ、身体の疲れを癒やしてくれます。傷系・皮膚病・糖尿病などに効果があるそう。

ることがありません。若者達も年金組も釣りに主従関係はないから、年金組は若者からエネルギーをもらい、若者は先輩達から世の中を教えてもらってます。

ヘアマツチ戦とは?

参加費が千円です。競技方法は2人での総重量ですが、戦いが終わるまで、どの方とペアになるかわからないのがミソです。試合終了後にクジ引きをしてヘアが誕生するので、一番釣果のある人でも成績が下位の人とペアになると入賞できない恐れが発生するから、クジ引きにはヤンヤの喝采です。皆さんも楽しんでほしいかがかな。

ただ、雪がない故の心配事もあります。昔から「大雪の年は大釣り」の格言が云い伝えられてますが、こんな状態では「春の乗っ込み」が心配なのです。